

安曇野で活動 インタビュー

安曇野市消防団音楽喇叭隊・音楽部をご紹介します

Q1.どんな活動をしていますか？

☞ 消防団音楽喇叭隊は、喇叭部と音楽部に分かれ、消防喇叭や吹奏楽を通じて地域住民の方々の防災意識向上の啓発活動を行っています。喇叭部は出初式や地域行事での吹奏の他、全国規模の喇叭吹奏大会へも参加します。音楽部は市や地域の行事、認定こども園の避難訓練等で吹奏しています。

Q2.どんな思いで活動に取り組んでいますか？

☞ 地域の皆様に、少しでも役に立てれば、と思います。地域密着の消防機関として火災などの災害から地域の皆様を守る消防団も近年は団員減少が大きな課題です。ぜひ消防団の活動にご理解を頂き、若い方々に、ぜひ一員として活動に参加して頂きたいです。

Q3.伝えたいことは何ですか？

☞ 安曇野市消防団は、旧 5 町村の各消防団を引継ぎ組織され、地域に根ざして活動しています。私達、音楽喇叭隊音楽部も音楽活動を通じて地域に根ざせるよう、週 1 回の吹奏訓練（練習）にて演奏技術の向上を図っております。興味のある方はぜひご連絡下さい。



連絡先：
安曇野市消防団事務局
(安曇野市総務部危機管理課)
TEL：0263-72-6769
安曇野市消防団音楽喇叭隊
音楽部長 陣内



応援メッセージ。

ようこそへ

小林ようこさんとは、子どもを通じた縁で知り合いました。穏やかで、芯の通った人だな、という印象を受けたのを覚えています。市議会議員になるとの決意を聞かせてくれた時も、胸に秘めた熱い思いがあふれ出るような眼差しでした。子どものこと、安曇野の未来のことを、とても大切に考え、その為に本当に尽力されています。ようこさんには、これからの時代にこの安曇野で、子ども達に何ができるのか、安曇野が子どもたちの声のあふれる場所になるように、私達市民と一緒に考え、頑張りたいと思います。私達、小さな子どもの母親の、等身大の声を届けてください。応援しています。

(廣川 みゆき 30代 女性 安曇野市穂高有明在住)

発行 小林ようこ後援会 安曇野市穂高 8108 番地 TEL 0263-82-6090

e-mail yoko@sunnydayazumino.com

URL <http://www.sunnydayazumino.com/> Facebook「小林ようこを応援しよう」

安曇野さんさん通信 第2号

(2018年3月)

ごあいさつ

みなさん、お元気ですか？ 陽射しは明るく長くなり、春を迎えました。2月に桜や菊水など色鮮やかな「やしょうま」を作った際は、安曇野の春の訪れを待ち望む豊かな風習を感じ、3月の味噌作りでは、いよいよ春を迎えると実感しました。春は出会いと別れの季節。環境の変わる方にも、新入生・新社会人にもエールを送ります。市議会議員になって2度目の議会（3月定例会）を迎えました。1～2月は財政、防災、広報の各研修や先進地を視察し、他の自治体の議員と意見交換の機会もあり刺激を頂くと共に、安曇野らしい市政運営とは何かを考えさせられました。引き続きよろしくお願い致します。



12/3（日）穂高区スポーツフェスティバル来賓参加
12/7（木）12月議会（～12/19）一般質問登壇
12/12（火）12月議会 福祉教育委員会審議
12/16（土）老人クラブ連合会穂高支部総会出席
12/26（火）三郷交流学习センター「ゆりのき」内覧
1/4（木）安曇野市功労表彰式、新年祝賀会出席
1/7（日）安曇野市消防団出初式、成人式出席
1/10（水）こども園民営化説明会（本庁舎）
1/15（月）後援会第2回茶話会開催
1/16（火）JA あづみ「女性のつどい」にて活動報告講演
1/18～19 市議会議員研修（滋賀）
1/24（水）福祉教育委員会視察（市内）※2/14にも視察
1/31～2/1 会派視察研修（東京・つくば防災科学研究所）
2/2（金）広域環境施設組合議会定例会
2/3（土）上原ふれあいサロン（やしょうま作り）参加
2/4（日）穂高あめ市来賓参加
2/5～2/6 広報特別委員会視察研修（山梨・埼玉）
2/12（日）安曇野市男女共同参画講座一般参加
2/18（土）安曇野市消防団喇叭音楽隊演奏会演奏参加
3/2（金）3月議会（～3/19）、一般質問登壇
3/8（木）3月議会、福祉教育委員会審議
3/10（土）三郷学習センター「ゆりのき」開館式典
3/14（水）穂高東中学校卒業式来賓参加
3/15（木）穂高南小学校卒業式来賓参加
3/18（日）上原自治会総会来賓参加
3/20（火）穂高認定こども園卒園式来賓参加
3/21（水）穂高区総会来賓参加

活動報告

(2017/12～2018/3)



春を感じる大根の芽(水彩;宮坂様)

12 月議会（定例会）のご報告



選挙で掲げた 3 つのテーマ「若い活力があふれ、住みよい安曇野」「美しい田園風景を次世代につなぐ安曇野」「高齢の方、障がいを持った方を独りぼっちにさせない温かい安曇野」を基に、今回は 3 つ質問をしました。第 1 問目は農業政策、第 2 問目は公共交通、第 3 問目は穂高プールを取り上げました。

「安曇野の元気ある農業振興について」

（問）安曇野の美しい田園風景を維持してきた農業だが、2015 年の安曇野市の農業従事者の平均年齢は 69.8 歳と高齢化が進んでおり、後継者不足と荒廃農地の増加を危惧する声は多い。市の農業の位置づけと中長期的なビジョンはどのようなものか。

（宮澤市長）農業は、田園産業都市を目指す本市の根幹産業である。五か年計画を策定し、荒廃農地解消に鋭意努力する。

（問）地域農業を J A、農業委員、営農組織や農家に依存し過ぎてないか。マッチング等の市の取り組みはどのようなものがあるか。

（大向農林部長）荒廃農地の発生防止に、農地流動化の仕組みも考えている。また定年帰農者による地域活性化の可能性も検証する。

（問）「稼ぐ農業」のための営農組織法人化・新規就農者への支援はどのようなものがあるか。

（大向農林部長）法人化の長所を周知すべく研修会やアドバイザー紹介等での推進を図る。新規就農者の住環境支援は、希望の地域や要件に応じ県や市の空き家バンク紹介も柔軟に支援する。

「地域の公共交通のあり方について」

（問）現在のデマンド交通「あづみん」は利用し難いとの声が多い。中山間地等の交通弱者の方の継続必要だが、利用し易いように幹線道路沿いでの定時運行バス等も検討すべきではないか。

（宮澤市長）「あづみん」運行 10 年を迎え、地域公共交通網形成計画の策定と「あづみん」の運行見直しを検討中だ。路線バス新設は新たな財源の確保も必要。利用者ニーズを把握し新たな投資抑制、既存の周遊バスやスクールバス活用も含め公共交通の充実や利便性の向上を図る。

（問）財源に問題があるとの市長の答弁だが、1 億円かけて 2,400 人が利用している現状と、例えば 1 億 5 千万円かけて 1 万人が利用できる仕組みなら、どちらが市民満足度は高いだろうか。税金の無駄遣いはいけませんが、もう少し、お金をかけた方が市民の満足度が上がるのであれば、公共サービスとして取り組みを検討すべきではないか。また市長の掲げる行政サービスの向上のためにも、市民の声を聞き丁寧な対応をするため、公共交通の専門部署設置を検討すべきでは。

（宮澤市長）公共交通は都市づくりと一体。庁内でも連携して専門部署設置を検討する。
→本年 4 月から公共交通の専門部署「交通政策係」が政策部政策経営課に設置される予定。
（右頁につづく）

「穂高プールについて」

（問）市内唯一の屋外プールである穂高プールは市民が親水できる施設であり、子育て世代の強い要望として、屋外の太陽の光の下で子どもをのびのびと遊ばせたいという声が多数寄せられた。市は指定管理期間の延長を調整しているとのことだが認識相違はないか。

（宮澤市長）廃止時期の延長を視野に入れて現在検討中だ。施設の老朽化、安全性の確保、修繕費等を再検討し、市民、議会とも相談しながら今後の方針を決定する。

（問）利用者増加の対策を考えたい。呼称を「安曇野市民プール」に変更する、近隣市町村にも連携して利用促進する、市民企画でのプールイベントを行なうなど、検討してはどうか。

（山田教育部長）指定管理者は、夏祭りやプール縁日等のイベント、水泳教室開催など利用者拡大を図っている。市も広報や HP で紹介し市内小学校への無料券配布等利用促進に取り組む。

（問）運営経費の削減を考えたい。毎年の修繕の費用が 50 万円、大規模修繕計画では 1 億円かかるウォータースライダーについて、利用者数など考慮の上で利用停止等も検討してはどうか。

（山田教育部長）ウォータースライダーの利用停止をすると利用者が減り、利用料収入が減る可能性がある。老朽化による運営方針については十分検討する必要がある。

（問）ウォータースライダーの利用者数について、今まで調査したことはあるのか。

（山田教育部長）入場者数は把握しているがウォータースライダー利用者数は把握していない。プールを継続営業する中で、ウォータースライダーの利用率も調査をする。

→穂高プールは指定管理期間が来年 3 月末までの 1 年間延長されました。今年の営業期間にウォータースライダー等の利用者数の調査、市民の意向調査等を行ない、プールの存続か廃止か方針を決めます。ぜひプールに足をお運びください。市に意見を届けましょう。

市議会いろは

☞「予算審議」 3 月の常任委員会（総務環境、経済建設、福祉教育）にて、市から示された新年度の新規事業や重点事業、継続事業の取り組み状況、将来への投資的な政策・事業を審議します。

☞「傍聴は無料託児サービスが利用できます！」 ファミリーサポートセンターの事業で、傍聴の間、お子さんを預かってもらえます。対象は 0 か月から就学前のお子さん。利用料は無料で、事前申し込みが必要です。お問合せ＆お申込みは安曇野市議会事務局（電話 71-2156）まで。

3/31（土）「女性のための学習会」講師（堀金）

4/5（木）穂高南小・穂高東中入学式来賓参加

4/6（金）細萱認定こども園入園式来賓参加

4/12（木）議会全員協議会

4/14（土）穂高区ボランティア会総会一般参加

今後の予定

4/17（火）後援会総会 18 時～ 穂高会館 第 2 会議室（安曇野市穂高 5047）

皆さまの市政に対するご意見もお伺い致したく、総会にはお誘いあわせの上、ご来場ください。